

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
<p>【職業・職場】</p> <p>地元若者が好む企業がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業に働く市民が直接高校生にアピールする。 ・郷土愛、職業観について家庭教育 ・大垣・岐阜・桑名・名古屋方面で、通勤可能な会社は、多くある。充分調査すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致施策の立案、予算措置 ・農振除外や農地転用を容易にして不動産業界、大型店舗など企業進出を促進する ・海津市職場ガイドをもっと広く情報発信 ・若者が好む企業とはどんな企業ですか？よく調べる。 ・企業立地促進、地元企業紹介メリット広報 ・”日本一”や”東海地方初”など目玉となる商品を作って会社を有名にする ・市内の高校、中学に地元企業の紹介等、広報活動の充実 ・海津市に調和する、企業の誘致。中小企業でも良い。新卒者が市内の企業に就職した場合、お祝金を支給する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の指向する職業調査、指向する職業に限りなく近い職業の把握 ・地元の企業に勤め、子どもを育てた親を理解してもらい誇りを持つ ・ボランティア等で協働（郷土愛、職業観、地元企業紹介） ・週休2日や夜勤なしなど条件を良くする ・地域で就職に関する情報交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミカン・栗・柿・野菜・米等海津市の農産物での、加工食材の開発を行う。例：米麺、餃子、ジュース、葉の販売…………… ・企業誘致は困難、企業誘致必要か？ ・ベンチャー企業等の助成・育成
<p>【職業・職場】</p> <p>高学歴に見合った企業がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛、職業観について家庭教育 ・大垣・岐阜・桑名・名古屋方面で、通勤可能な会社は、多くある。充分調査すべき。ただし全国、世界を目指し仕事を行うことは良いと思われる。充分結婚・子育て・老後の生活・家族のあり方を話し合うことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・高学歴とは大卒の事でしょう。今や短大を含め相当な割合で大学を出ています。技術的職業のPRをすべきでは… ・企業立地促進、地元企業紹介メリット広報 ・”日本一”や”東海地方初”など目玉となる商品を作って会社を有名にする ・海津市に調和する、企業の誘致。中小企業でも良い。新卒者が市内の企業に就職した場合、お祝金を支給する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与の研究 ・ボランティア等で協働（郷土愛、職業観、地元企業紹介） ・”日本一”や”東海地方初”など目玉となる商品を作って会社を有名にする ・地域で就職に関する情報交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような職場も高学歴者の就職によって活性化でき発展が期待できる ・市外からでも通勤してもらえよう企業とまちづくりが理想です。 ・志を持った若者が市外に出て勉強するのは応援すべきだが、大学に行くこと＝希望の職につくとはならない。勝手の思い込みを改めたい。 ・ミカン・栗・柿・野菜・米等海津市の農産物での、加工食材の開発を行う。例：米麺、餃子、ジュース、葉の販売…………… ・学歴で職場が決定されるのか？ ・職業体験、指導が必要では？
<p>【職業・職場】</p> <p>車で1時間の通勤圏は大変、親も進めない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説得「1時間くらい何でもない」 ・通勤以外の定住へのメリットを紹介する ・通勤は女子40分、男子1時間30分が都市圏の平均的許容範囲です。少し甘いかな… ・郷土愛、職業観について家庭教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・海津コミュニティバスの充実 ・マイカー通勤の人のための補助 ・企業立地促進、地元企業紹介メリット広報 ・市内居住者へ助成金交付 ・桑名や名古屋へのベットタウン化、主要道路周辺に住宅地をつくる ・交通アクセス（巡回バス）の改善 ・就職前に、家族で家族のあり方、将来について充分話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の研究 ・市外への通勤、通学を前提にした若者に住民として定着してもらうための支援を厚くする（1）住宅取得や家賃への優遇（2）公共交通不備を補うデマンドtaxi（3）出産、育児、子育ての支援、不安解消 など若者が住み良いまちの総合ビジョンをまとめて実施する。このことを観光客誘致より優先して市民になってもらうためのPRを市内外に行う ・海津コミュニティバスを職員も市民も大いに活用する ・ボランティア等で協働（郷土愛、職業観、地元企業紹介） ・桑名や名古屋へのベットタウン化、主要道路周辺に住宅地をつくる ・交通網の充実。2車線化。名古屋方面への橋増設等推進。 ・駐車場の整備、確保、情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑のある家はほとんど家に軽トラックがあります。大人1人1台の家が多く、海津は経済的に負担が多い地域です。 ・親世代の意見が多く反映されている様に思える。自分達は車のない時代から電車を乗り継ぎ通勤したのでは？子どもに甘い。
<p>【職業・職場】</p> <p>（地元で就職しても）住まいがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地提供 ・空家（マンション）の提供 ・住宅販売の情報を、充分収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場に対する働きかけ（寮、社宅、公営住宅、新築、リニューアル） ・空家活動、住宅新築時の補助 ・団地内空家の調査、アパート建築への配慮「住」の部分で市内にとどまるよう努力してほしい。 ・空家（マンション）情報の提供、土地規制の緩和 ・空家情報を公開 ・空家住居の紹介、家賃保障制度 ・空き家の紹介システムの構築。宅地開発の紹介システムの構築等。市営住宅の空き情報を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地、原野の宅地利用 ・アパートなど住宅地をつくる ・空家、住居の紹介 ・空き家の紹介。 ・空家情報を協働で 	<ul style="list-style-type: none"> ・西濃地域は県で一番土地を手放さない土地柄だそうです。 ・賃貸料金等の高さ（輪之内などと比べると高い）
<p>【職業・職場】</p> <p>出産後に復帰できる職場がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再就職のための職業訓練・資格取得等努力する。自分で企業、団体等に売り込めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場オーナーを巻き込んだ会議開催（理解を求める） ・保育施策の確立 ・企業に託児施設の設置要請 ・企業経営者への啓蒙、税・助成金で支援 ・職場の情報と内容を詳しく説明 ・企業への指導 ・国とは別に、海津市として左記の支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場オーナーを巻き込んだ会議開催（理解を求める） ・休職制度（OBの活用等） ・企業経営者への啓蒙、税・助成金で支援 ・短時間働けるパート職をふやす ・パート、派遣業の情報交換を行う。 ・学童保育とか子育て支援での職場は、子育て共に働けるよう楽しみに、福祉の方にもどんどん参加、学校（保育園～中高生）への協力 	

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
【職業・職場】 親の職業を継ぎたくない	<ul style="list-style-type: none"> 説明不足 マイナス面を強調しない 地元の商品を積極的に購入、利用すること 継いでくれる人を見守り、大切なことだと思ってもらえ。また、年寄りがいつまでも頑張らない。定年・・・？ 職業観について家庭教育 昔からの風習にしばらない、地域の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄な仕事は無い「教育の充実」「伝統を守る」 地元商店街の紹介、マップ作りなど 職業観について学校教育 体験農業など、市外の人に農業を体験するイベントを開催 親の職業が、今後発展・成長させれないか家族で充分話し合う。親の資源・資産を受け継ぐことは良いことと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「社会の認める仕事である」の推進 店主たちが組織を立ち上げ、行政が情報発信をバックアップ 職場訪問等を通じて職業理解促進 家族で農業ではなくビジネスとしての農業（例：農地を貸す、農業をやりたい人を育てる） 地場産業の経営・資金支援等を推進する。国の支援情報を、配信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職難に家業があることは幸せだとも思うのですが。 職業選択は個人の問題。しかし、いつからでも親の職業に就ける様に親も考慮⇒楽しさ・魅力を継ぐ
【職業・職場】 名古屋、東京、大阪など、都市で働きたい	<ul style="list-style-type: none"> 都会で生活した者でふるさとに帰ってきた人の話 帰郷してもらう為の取り組み（祭りの保存など） 郷土愛、職業観について家庭教育 進学、就職する前に、家族・家族の将来あり方等について、充分話し合う。老後の考えも明確しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスを津島まで 郷土愛、職業観について学校教育 主要道路周辺に家を建てる⇒名古屋・東京・大阪へ通勤⇒通勤に時間がかかる⇒市内で職を探す⇒定住する 遠方（都市部）での就職、単身赴任者の支援を行う。故郷納税。いずれは帰ってこれる土壌の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> 都会と現在の生活環境の違い（利点、負点） 都会に出ても海津のよさを常に教え込み、帰ってもらえるグッズを探しましょう。 職場訪問等を通じて職業理解促進 UIターン者を歓迎する土壌の構築。既に当気運はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境は良いので通える範囲内をアピールできれば良いですね。 若者であれば当たり前である 個人の問題 他地域の経験は必要、この地域の方は特に井の中の蛙
【結婚環境】 親と同居したくない	<ul style="list-style-type: none"> 生活（幼児からの）を通じた啓蒙 同居の良さをアピールする 空家、マンションの提供 同居したくない原因を解決していく努力が必要。家族のあり方、老後の事等子供の時から家族で話し合う事が必要。親を尊敬する規範が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育を通じた意識改革 空家住宅を紹介 空家、マンションの情報提供、土地規制の緩和 空家情報を公開 3世帯家族にあるべき家族の姿として、支援を行う制度を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 三世帯共同住宅 耕作放棄地、原野の住宅用地への転用 3世帯交流の場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 同居のほうが何事にも良いと思うのですが。 個人の問題
【結婚環境】 同年代の人が多い所で住みたい	<ul style="list-style-type: none"> 同年代の人が多く集まれるサークルを作る。 家庭でメリット、デメリットを教育 家族、班、自治会、故郷のあり方等を考え、今をどう過ごすか決めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者が就業する企業誘致 サークル活動場所の提供 アパートを建ててください 	<ul style="list-style-type: none"> 住んだ所に多くても必ずしもハッピーになるわけではない。地域活動を通じた環境整備。 住宅地やアパートをつくる 同世代の、交流の場を設ける。 幼児を持つ母親の会・家庭内介護の会・・・等。 	<ul style="list-style-type: none"> 若いお母さんたちにはぜひ実現したいところでしょうね。 個人の問題、それを補う人・物・事があると思う
【出産・子育て】 通学距離が長い、帰り道が暗く心配	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアによる安心、安全活動 住民パトロールの実施 安全パトロール、地域の防犯意識の強化 防犯灯設置要望を、自治会長に依頼する。通学見守り隊を設立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯環境の整備、予算化、警察との調整等 パトロール強化 防犯灯等インフラの整備 街灯の設置、安全パトロールの強化、バス通学（スクールバス） 交通アクセスの充実 防犯灯の充実。防犯灯設置基準を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の推進 ボランティアによる見守り活動 安全パトロール、安全ボランティア（みどりのおばさん集団をつくる） 見守り隊への参加。みんなで子供を守る、育てる意識。 通学路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> あまりにも遠い大江地区などは、通学バスも必要なのではないでしょうか。 地域の協力 協働でこれこそ心配りができる問題、警察も含むもちろん
【出産・子育て】 (子育て世代は) コミュニケーションが苦手	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア、井戸端会議 高齢者の活用 子育てボランティアの利用、子育て支援センターの周知 サークル活動への参加 いろいろな世代の方との交流の場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の配置と積極活用、予算措置 有償ボランティアを増員する、子育て支援センターの周知 イベントや講演会など子育てボランティアの方に託児をお願いする。子どもの預かり⇒話す機会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> サークルの場などを作る 託児によって話す機会ができ、アドバイスや悩みを聞いてもらうきっかけができる 情報不足、きめ細かい配慮 	<ul style="list-style-type: none"> お嫁さんは海津に友達がいないため、なかなか情報は広まらないだろうとのこと（お嫁さん達談） いき渡っていない。情報不足、孤立、年寄りにばかり向いていないように
【出産・子育て】 休日診療が少ない、情報が足りない		<ul style="list-style-type: none"> 更に具体的な広報 救急対応について広報し安心感を醸成する 情報周知、休日診療医を増やす 医療連絡網の充実強化 平田町、海津町、南濃町それぞれに1箇所ずつ設置（地図をつけると分かりやすい） 在住医療、医師会病院、再調整及び広報の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 発信不足、きめの細かさが必要 	
【出産・子育て】 学童保育サービスが充実していない	<ul style="list-style-type: none"> 待機している子育てボランティアの活用を増やす ボランティア活動にて参加 制度だ色々変わっていくので、情報を充分チェックしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 予算措置、施設の提供 有償ボランティアの設置、増やす 同居率を上げる様、何らかの施策がほしい。 施設の充実 兄弟、姉妹は学年に関係なく学童保育に入れる 制度の充実と効果的な運営 制度の内容、変更等充分広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を保育にシフトする ボランティアの協力 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の学童保育員の相談に十分対応してもらえないという不満があるそうです。 連携不足、情報発信不足。若いお母さん→シルバーのみでなく全世代の方の協力 連携不足、縦割り行政の不備

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
【出産・子育て】 出産、子育てへの不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・子育てボランティアが相談にのる、話を聞く ・近居、同居により親共々に生活している事を自覚させる。嫁姑の問題ばかり取り上げず、いかに助かるかを認識しあうことが大切では・・・手を出したがる義母、子どもに近づいて欲しくない嫁。ある意味人間的に？助け合える「家族力」を作りたい。 ・サークル活動への参加 ・ボランティア活動にて対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・助産施設（医師との連携）の充実 ・子育てボランティアが相談にのる、話を聞く場所を作る ・カウンセラーの充実 ・保健センターの開放（いつでも気軽に相談できる環境をつくる。） ・保健センターに児童センターをつくる ・制度の充実と効果的な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験者がボランティアとして協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携不足、情報発信不足。若いお母さん→シルバーのみでなく全世代の方の協力 ・連携不足、縦割り行政の不備
【出産・子育て】 育児ストレス、相談できない環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア（経験者） ・子育てボランティアが相談にのる、話を聞く ・サークル活動への参加 ・いろいろな世代の方との交流の場をつくる ・ボランティア活動にて対応 ・精神科医師のカウセリングを受ける事に抵抗感をなくし、受ける、相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員の設置と積極的活用 ・子育てボランティアが相談にのる、話を聞く場所を作る ・カウンセラーの充実 ・子育て支援センターをバージョンアップ化、料金設定をして託児をする ・制度の充実と効果的な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験者がボランティアとして協力 ・連携不足、縦割り行政の不備 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携不足、情報発信不足。若いお母さん→シルバーのみでなく全世代の方の協力
【教育環境】 小中高生のよい塾が少ない、地域にない	<ul style="list-style-type: none"> ・親の自覚 ・塾に頼らない ・学校で、塾の教育を受けられるよう、希望を提出する。（希望者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・学校教育の充実 ・学校で、塾の教育を受けられるようにする。（塾からの派遣教師） 	<ul style="list-style-type: none"> ・塾、誘致 ・教員退職者がボランティア等として協力 ・東京、他地域では学校で大学生・塾・教師で行っているところあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い、悪いの基準 ・海津には多いのではないかと思いますし、お母さんの送り迎えで力が入っている家庭が多いと思います。 ・学校教育だけで、小中新教育の内容を理解することは無理。家庭or塾でのフォローが必要。 ・個人の問題
【教育環境】 文化、芸術等のよい指導者が少ない(TOPレベル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア(かくれている?) ・全国的に各市町村にそんな人が居るわけではない。本当にその道をめざすならパリでもニューヨークでも行けばいい。 ・文化、芸術に興味をもつ ・良い指導者を、大垣・岐阜・名古屋に求めるのはやも得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録、施設提供、大会の援助等 ・文化、芸術等のイベント企画を増やす ・かくれた人材、地元の文化を伝える人を大切に。 ・市民の中にいるいろいろな指導者を募集してサークルをつくる ・指導者の招聘、育成する。出張指導者への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種展示会、大会の援助 ・関心を持つ市民が協働してよい指導者にふれる機会を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・これは贅沢です。 ・TOPレベルでなくてもできること、人物、指導者が必要では ・TOPレベルの人へ携う機会は必要 ・情報は幅広くに収集すべき
【教育環境】 小学校1学級1学年、子どもの人数が少ない、よい先生の配置がされていない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人の関わりをもっと増やす ・子供を持つ親が、1学級(n人以下)では、駄目だの声を上げるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀教育者の採用 ・学校教育の充実、市内各校の交流の機会を増やす ・少子化対策の強化、子育てしやすい環境づくり ・子供を持つ親の意見を聞き、小学校の統合を検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域先生を作り、小学校との関わりを深める ・よい先生とはどんな先生か。父兄、教育委員会共に話し合って食い違いを明らかにしては。我がままを通す人がよい先生・・・? ・適、不適、適材適所は教師にあると思う。相互(親・教師)の協働、教育委員会等必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い先生の基準？悪い先生多い？ ・教師だけで子どもを健全に育成できるとは思えないし、個性ある教育を目指しても良いと思う ・少子化(ふるさと定住問題)
【教育環境】 大学進学に良い高校が市内にない	<ul style="list-style-type: none"> ・親の自覚 ・地元の高校を優秀校にしていく、成績優秀者に地元に残ってもらう ・高校のブランドが進学する大学をきめない。自己努力の大切さを家庭教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をどうすれば良いのか研究必要(教育委員会等) ・今ある学校を育てる活動 ・高校生の市民に対するアピールの場所を設ける ・市内の高校教育を充実 ・海津市をPR、入学希望者が多くなれば進学コースなどコースが増やせるのでは？ ・海津市教育特区とし、中学校・高校一貫校の設立が、出来ないか。ハイレベルの大学進学コースを設ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・明誠高校が多々、表彰を受けていることを知っていただきたいですね。 ・学校の問題よりも本人の問題 ・市内の高校のレベルアップ。成績のみでなく他に各々生かせる能力(取得・発掘等)ができるはず
【教育環境】 地域の文化・歴史等を教える時間がない(小中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の有識者に話をしてもらおう ・学校側の時間が許すなら課外授業としてボランティアする用意は充分あるが、学校の考えはカタイ! ・家庭教育 ・地域ぐるみでの学校教育参加 ・ボランティア活動により実施 ・土曜日の授業を再開させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究、発送転換 ・地域の有識者を探し出す ・どう呼びかけるか ・課外活動の充実 ・安全対策を強化しながら地域に密着した学校環境をつくる ・土曜日を授業する。元に戻すことで余裕時間をもち、地域の歴史・芸能等勉強する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元有識者の活用(講師) ・観光ガイドのNPOを作る ・どう呼びかけ、どう協力するか ・ボランティア活動等で教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が当たり前と思っていること⇒発掘、発信 ・地域への参加の機会、住民との連携不足(教師の方は知っている?)
【生活環境】 2世代、3世代住める家、土地がない、買えない	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張る ・土地提供 ・団地では今すごい勢いで空家が目立っています。まずは近居から。 ・空家、マンションの提供 ・長期的な家族計画を持ち、節約・貯金をを行い、逐次実現させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる役所、役所としてどんなことができるのか。 ・住宅新築時の補助、空家の提供 ・農家、団地の空家を調査し、売買できるのなら市民に公開しては？ ・空家、マンションの情報提供、土地規制の緩和 ・土地の有効利用、空家対策など ・3世代住宅建設の支援を考える。(低金利融資・・・) 新婚世帯、市内在住者へ一定期間支援す。Uターン世帯に、一定期間支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地、原野の宅地利用 ・地元での、土地・空き家等の情報交換の促進。 ・支援、援助の情報は必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたい人もいるのに住めないでは定住にはもったいない話です。 ・市で、分譲住宅・空き家・販売希望者等の情報の一元化(住宅バンク)をし、ホームページで公開する。広報でもPRする。 ・個人の問題 ・支援、援助の情報は必要

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
【生活環境】 仕事が多岐、高度、ノルマがあり、地域の使役が負担	<ul style="list-style-type: none"> 若者世代から元気でヒマなシルバー世代へ負担を転化 仕事をしている人が多く回数が多いと負担。参加できる時だけでいいなど、あたたかい守りが必要 出来るだけ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の後押し シルバー世代の活躍に支援 	<ul style="list-style-type: none"> 研究、話し合い、理解を求める シルバー世代の活躍に支援 必要な事と今の時代に合わない事など、仕事の整理によって負担が減らせるのでは。 理由により、使役の負担を許す助け合いの風土を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分1人で行う物事ではないはず。協力、支援は家族＝親族＝近隣、友人など
【生活環境】 親の面倒をみたくない、この地を出て行きたい(一家を守る意識の欠如)	<ul style="list-style-type: none"> 地域と住む人の理解を求める活動とボランティア(少子高齢化に連動) 核家族が生んだ心情でしょう。今親である世代が親をみていないので、子が手本としないし、見本が少ない。子どもの頃から家族同居を言い続けること。 郷土愛、一家を守る意識の大切さを子どもの頃から教育 時代の流れなのでしかたがない 進学、就職する前に、家族・家族の将来あり方等について、充分話し合う。老後の考えも明確にしておく。家族の絆が、人生において大事であることを子供の時から形成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正費用で入居できる施設を検討 郷土愛の醸成支援 高齢者対策を強化、住宅地を増やす 義務教育の中で、先祖・父母・隣人等の大事さを教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア 地域のイベント、行事をふれあいの場として再生 高齢者が多い地域が出てくるので見守りとつながりが必要(災害時など) 地域の中でも、大事さを教えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来自分が困ることになると分かっていたくないのでは。 個人の問題
【自然環境】 水害(浸水)の発生が予想される(堤防の決壊)	<ul style="list-style-type: none"> 防災についての理解を深める(地域活動) 住民の古くからの備えを伝える 防災マップを作り紹介していく 地域の不安箇所について感心を持つ 地域のつながり強化、避難場所を確認 自主防災活動への参加。危険予知の学習を行う。自分で自分の命を守ると言う意識づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識と訓練 不安を少なくする施策(水、食料、避難場所等) 河川改修工事の実施 防災教育の充実、情報連絡網の充実 安全マップをつくる、多くの人に知ってもらう 安全面のチェックと予防策の検討 治水工事の推進。自主防災活動の指導・支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識と訓練 不安を少なくする施策(水、食料、避難場所等) 地域共同体の意識を持続 自主防災活動の推進。自治会・班単位で。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然には災害の恐怖だけではない良さがたくさんあるでしょう。 消防団、水防団 堤防、水害情報の整備・情報は常に必要
【自然環境】 土砂災害の発生が予想される(山の崩壊)	<ul style="list-style-type: none"> 防災についての理解を深める(地域活動) 住民の古くからの備えを伝える 防災マップを作り紹介していく 地域の不安箇所について感心を持つ 応急手当の方法を知る 自主防災活動への参加。危険予知の学習を行う。自分で自分の命を守ると言う意識づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識と訓練 不安を少なくする施策(水、食料、避難場所等) 治山事業の促進 防災教育の充実、情報連絡網の充実 安全マップをつくる、避難場所の案内板をたてる 安全面のチェックと予防策の検討 治山・治水工事の推進。自主防災活動の指導・支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域共同体の意識を持続 救命救急の方法を知る 自主防災活動の推進。自治会・班単位で。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然には災害の恐怖だけではない良さがたくさんあるでしょう。 消防団、水防団 堤防、水害情報の整備・情報は常に必要
【都会への憧れ】 現状での不満、都会に出れば何とかなる	<ul style="list-style-type: none"> 不満の把握と解消するための意識 現状の不満を聞いて解決できることはしていく 郷土愛についての家庭教育 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育、社会インフラ・公共インフラの充実 海津市を元気にする 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるコミュニティづくり、地元付き合いや負担の軽減 海津市のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 都会に出てもそんなに今以上になることはない 都会に出ても思ったようにはいかないと思いますが。 経験、体験は無駄なことは何も無い。なんでもチャレンジ
【都会への憧れ】 自己変革	<ul style="list-style-type: none"> 自己努力 郷土愛についての家庭教育 一度は違う環境にあこがれるもの、帰ったときにあたたかく迎えられる環境にする 	<ul style="list-style-type: none"> 若者を頼りとしたまちづくり委員会を作る(商工会以外で) 学校教育、社会インフラ・公共インフラの充実 海津市に帰った時に住むために必要なアパートなどの住宅の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるコミュニティづくり、地元付き合いや負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 頼りにしてあげるとやる気を出してくれそうな気がします。 経験、体験は無駄なことは何も無い。なんでもチャレンジ
【都会への憧れ】 出会いがない	<ul style="list-style-type: none"> 自己努力 地域の「絆」の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 出会いの場所、イベントを企画する たくさんの方々が楽しめるイベントが必要(おまつり、運動会など) 	<ul style="list-style-type: none"> 出会いの場所、イベントを企画する 社協、商工会等の団体、ボランティアによる出会いの機会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 経験、体験は無駄なことは何も無い。なんでもチャレンジ
【都会への憧れ】 都会への憧れ	<ul style="list-style-type: none"> 憧れほど都会は期待できないことを自覚しよう 地域を守る大切さや責任を伝えていく 郷土愛についての家庭教育 	<ul style="list-style-type: none"> 若者を頼りとしたまちづくり委員会を作る(商工会以外で) 学校教育、社会インフラ・公共インフラの充実 海津市のPRをして人がたくさん集まる町づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるコミュニティづくり、地元付き合いや負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 若者であれば当然 経験、体験は無駄なことは何も無い。なんでもチャレンジ

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
【高齢者】 公共交通等、生活環境の心配	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持のため自分は何をすべきか ・地域で支え合う ・公共交通が不便になったのは車社会を謳歌し、公共交通を使用しなかった過去がある。その事を反省し、できるだけ若者にも公共を利用してもらうように努力する。 ・地域の「絆」の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持と発展のため研究する ・海津コミュニティバスやタクシーなどの有効利用のための取り組み、割引券等を増やす ・呼びかけ ・社会インフラ、公共インフラの充実。社協、民生委員等によるサポート ・バスの路線(大垣に行きやすい、羽島駅までいけるなど)、時刻表の見直し ・交通アクセスの充実(巡回バス等)再検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、老人会、地元企業等地域の団体等による共助 	<ul style="list-style-type: none"> ・養老線の維持で経済援助分担分だけ乗車券を購入。市民に分配すればその分だけでも乗車すれば活性化につながるのでは。現状は目に見えない。 ・できることは何かもう分かっているはず⇒実行可能な物、事を早急に行動
【高齢者】 将来への不安	<ul style="list-style-type: none"> ・老の独者、老介護に不安。一番は健康に留意する。 ・相談を聞く ・地域の「絆」の再構築 ・健康で長生きすることに努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安に答える政策 ・市の色んなサービスをレベルアップ ・社会インフラ、公共インフラの充実。社協、民生委員等によるサポート ・情報の公開をする ・福祉の充実(税の軽減、老人施設等の充実、医療費の軽減) ・70歳以上の健康診断は、無料化する。(人間ドック) 病気の早期発見で、医療費の削減・健康不安を取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア(有償含む) ・有料の生活支援(通院、買い物、家事、公共機関への手続き、私財管理など) ・市民同士で話し合える機会を作り、行政が場所を提供 ・自治会、老人会、地元企業等地域の団体等による共助 ・高齢者見守り隊(福祉推進委員+・・・)の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合えるまちを目指すしかないと思いません ・市政はアンケートなり企画なり今まで積み重ねがあるはず⇒実行、行動、情報公開をもっとすべき
【高齢者】 孤独な環境 (家庭内でも孤独)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己改革 ・相談を聞く ・地域の「絆」の再構築 ・公園などを利用したイベントをつくる(ゲートボール、体操など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の色んなサービスをレベルアップ ・社会インフラ、公共インフラの充実。社協、民生委員等によるサポート ・高齢者が集まるサロンをたくさんつくる(外出するきっかけをつくる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけにしない活動 ・生活見守り隊(おせっかいじいちゃん、ばあちゃんによる声かけ運動) ・市民同士で話し合える機会を作り、行政が場所を提供 ・自治会、老人会、地元企業等地域の団体等による共助 ・高齢者が集まるサロンをたくさんつくる(外出するきっかけをつくる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合えるまちを目指すしかないと思いません ・地域の役員、自治会、老人会、社協、警察など⇒名だけの組織、役員⇒実質的活動が無い
【地域コミュニティ】 転入者に対し「仲間に入れてやる」という思想	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが他人に与える影響を考えよう ・地域住民に対する意識改革 ・意識改革 ・自治会の改革必要 ・自治会の改革 ・自治会に入会する前に、地域の人と充分話し合う。付き合える事と、そうでない事を明確にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・差別の具体的説明と理解させる広報等 ・地域の行事、社寺の維持管理など地域外の人にも広く参加を求める気風をつくっていく(若者が参加しやすい開かれた地域とは?) ・自治会のあり方を見直す ・一般市民に直接顔を向けた行政の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への働きかけ ・地域分権にそったコミュニティの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の意識が変わることが一番大事なかな。 ・人口が増えること、子供が増える事が地域の活性化になることを住民は共有する。 ・文化、風習、習慣の違いと一蹴
【地域コミュニティ】 時代にそぐわない(地元の)古いルールなど	<ul style="list-style-type: none"> ・意識改革 ・自治会のあり方を見直す ・意識改革 ・自治会の改革 ・改革の提言をする。必要なルール・助け合いのルール等は残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何がそぐわないのか洗い出しと検討をし解決策を見つける ・自治会のあり方を見直す ・情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・何がそぐわないのか洗い出しと検討をし解決策を見つける ・自治会への働きかけ ・地域分権にそったコミュニティの構築 ・区・自治会・班・お宮・お寺等の行事に伴う使役について、無理をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の意識が変わることが一番大事なかな。 ・少子高齢化が進む中、今までのままで持続可能か?考える人がいるのか。⇒廃止ではなく持続を
【その他】 大きいイベントは一部の人だけが参加	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってみようと思うイベントか(できるだけ参加しよう) ・積極的に参加する ・自治会の改革必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・広く周知する ・PRの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が集まれるイベントを考える(多くは不要) ・参加意識を高める ・多くの団体やボランティアが参画する 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス券など、行って得かな?と思っもらうと良いと思います。
【その他】 他県、他市町からの転入者は、転出することに抵抗がない。その子どもも同じ。	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろからの地域への関わりを深める ・地域の住民としても意識改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・転出したくないと思える施策に力を。 ・転入者には職員が直接訪問し、市のサービスを説明する等 ・社会インフラ、公共インフラの充実 ・海津市のPR、交通の便をよくして住宅があれば出て行かないかも 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるコミュニティづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーの問題、他人は入れない ・海津に住んで何も楽しいことがなかったということですね。 ・魅力があれば
【その他】 土地柄やむを得ない(都市に行き慣れている)	<ul style="list-style-type: none"> ・住むには良い環境だとアピール ・郷土愛の醸成 ・海津市の住居から通勤出来る就職先を決める。先祖からの資産を有効利用する事を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住むには良い環境だとアピール ・社会インフラ、公共インフラの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・住むには良い環境だとアピール ・魅力あるコミュニティづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ住みやすい(現在地を含め地理的条件良好。友人ができた。都会にいる孫が毎年喜んできてくれる地域) ・都会に行きやすく、住みよい海津となれば。 ・魅力があれば
【その他】 3町の持ち味、特性を活かしきれしていない	<ul style="list-style-type: none"> ・3町の持ち味をまず市民が知る ・地域に関心を持ち、良く知る努力をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ連携できていない3町をまとめていくこと ・これまでの経緯や現状を踏まえて、目標や計画を見直し、市民へ分かりやすく啓蒙する ・観光地としてのPR、観光地マップをつくり広める 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力によって効果あるように努力したい ・3町が仲良くできるような話し合い等重ねていくこと、場所を作る ・地域毎に住民の協議の場をつくり検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧町職員間はOKですか ・前が良かったという意見もある。皆が良かったと思える施策が必要では? ・宝の持ち腐れということでしょうか ・魅力があれば ・3町バラバラ。共有ができれば。わが町・わが村が一番と思っている

課題

状況・要因	対策			
	市民ができること	行政がすべきこと	協働によりできること	その他ご意見等
<p>【その他】</p> <p>養老鉄道 (経費ばかりの議論では?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈もゴミ拾いもイベント感覚でセットすれば出やすい。 ・利用意識を高める ・運営等にボランティア活動として参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・駒野、石津駅の整備 ・多額の補助金を出すだけでなく、受益者数、利用実態、将来とも存続ができるかを検討し、市民へ市としての対応を説明する必要がある ・運営方法の再検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることはあるはず。 ・海津町、平田町に利用促進の働きかけをしていく ・情報発信不足、危機感が無い、他人事 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く無関心な住民が多いと思います ・マニアにもっとアピール、サイクルトレインもつとアピール、アピールの仕方を考慮
<p>【その他】</p> <p>人口減に対する関心がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まわりはアパート、新築家屋が増えているように思う。 ・広く現状を知ってもらえるように周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ・究極の減少は、どこまでが許容範囲でしょうか ・市報かいつで人数の増減を知らせるだけでは不十分です ・不安をあおる様ではいけないが、人口減のことは大きく公表し市民の自覚をあおく。 ・市民へ現状と将来見込み、その影響等について啓蒙する必要がある ・人が減る、増えるメリットとデメリットを広く知ってもらう 		<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ減ったのかなど、多少の問題定義は市報かいつにも載せても良いのではないか ・情報発信不足、危機感が無い、他人事
<p>【その他】</p> <p>2世代、3世代家族への補助がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どういう意味での補助なのか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助、特典を設ける ・財政状況と優先度を考慮して対応する ・市内(地域)の3世代家族に、支援する、システムづくり。 		<ul style="list-style-type: none"> ・何がどう不満なのか聞いてみたいです ・情報発信不足、危機感が無い、他人事
<p>【その他】</p> <p>菜園付き安価で一定以上の面積の住宅がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲住宅は、菜園付の物を購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地を調査、貸し出しを促進 ・土地規制の緩和 ・分譲住宅は、狭く・安いものでなく、永住に相応しい、広さの住宅販売を指導すべき。海津市の住宅販売のセールスポイントとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地や原野の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家に田畑があることが幸せだと気付いてくれると良いですね ・住居に対する考えは各々で違う